

学生のスマートフォン使用時間と安全意識及び行動の関連

Time College Students Spend on Smartphones and Its Association with Their Mind and Body

植村 明生

Akio Uemura

植村 珠枝

Tamae Uemura

要旨

大学生を対象に、スマートフォン使用とコーピング尺度、リスクテイキング尺度を用いて質問紙による調査を行ったが、男子学生と女子学生では一部異なる傾向が見られた。すなわち、男子はストレスが発生した時に解決しようとするものほど、スマートフォン使用時間が長くなる傾向があり、女子では、先送りをする傾向があるものほど、スマートフォン使用時間が長くなると考えられた。今後は健康と安全に配慮したスマートフォン使用の指導が必要と考えられた。

キーワード： スマートフォン使用時間 コーピング尺度 リスク尺度 ストレス適応
モバイル機器の使用指導